

2016年度 経済学史学会国際情報発信力向上のための海外派遣プログラム  
募集要項

1. 目的

学会員（特に若手会員）の研究成果を海外に積極的に発信し、経済学史学会の国際的認知度を高めるとともに、『経済学史研究』などの専門誌への英語論文の投稿を促すため。

2. 応募資格

①若手枠 2016年5月18日（公募締切日）現在の年齢が満40歳未満（1976年5月19以降生まれ）で、2016年6月1日から2017年3月31日までに海外の学会か研究会で報告し帰国予定の会員。国内開催の国際学会も対象とする。

②一般枠 上記以外の会員で、2016年6月1日から2017年3月31日までに海外の学会か研究会で報告し帰国予定の会員。国内開催の国際学会も対象とする。

\*支援を受けた会員は、報告後1年以内に『経済学史研究』をはじめとする専門誌または英文論集に、英語による論文投稿（単著または共著）を行うことが義務づけられます。今回から若手枠以外に一般枠を設けますが、応募者多数の場合は若手を優先します。

3. 支援内容

渡航費、学会参加費、宿泊費、および英文校閲費の実費など、2016年度中に発生した費用（上限1人につき30万円の予定）。

4. 募集人員 若干名

5. 応募締切 2016年5月18日（水）（必着、少し余裕をもって応募してください）

6. 送付書類等

申請書（別紙）

報告する学会等の案内またはプログラム（PDF書類、またはURLリンク可）

英語（500ワード程度）による報告要旨

報告用の論文（既にある場合）

\*以上の4点を電子メールに添付し、下記3つの宛先（代表幹事、企画交流委員会委員長、事務局補佐）各々に送付すること。

E-mail : jgatanaka [at] zj8.so-net.ne.jp; jgata [at] dpc.agu.ac.jp（田中）

ikeda [at] econ.keio.ac.jp（池田） sunetmoon [at] yahoo.co.jp（村井）

7. 選考方法と結果発表

\*選考は企画交流委員会・常任幹事会で行い、選考結果を5月末に申請者に通知する。採択者については『経済学史学会ニュース』（2016年7月号または2017年1月号）に公表する。

\*付記 この件に関する問い合わせ先

〒462-8739 名古屋市北区名城3-1-1 愛知学院大学経済学部 田中秀夫研究室 電話：

052-911-1011（内線2720）、または自宅電話：

上記メール（田中）で

もOK。